

## ■情報理工学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の情報理工学科に興味・関心を持った人を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 学ぶ意義を理解できる人
- グループで議論や活動ができる人
- 情報科学、数理・データサイエンス・AIなどの分野に興味を持ち、社会の各分野で貢献できる人
- 社会課題に対する関心を持ち、持続可能な社会の実現に貢献したいという意欲を持っている人
- 論理的思考力、コミュニケーション能力、協調性を持ち、主体的に学修に取り組むことができる人
- 多様な価値観を尊重し、グローバルな視点を持って行動できる人

### 大学入学までに身につけて欲しいこと

大学では高等学校での学習内容を土台として講義が展開されます。「国語」、「数学」、「英語」といった基礎科目はあらゆる講義の基盤となるだけでなく、物事を論理的に思考することにも役立つ重要な科目です。とりわけ、「国語」の「文章表現力」や「口頭表現力」は、コミュニケーションの基本であり大学の講義をはじめ社会に出ても必要な力です。「数学」は、物事を論理的に考える訓練ができる科目であり、「論理的思考力」は、データサイエンスによりデジタルトランスフォーメーション（DX）を実現するうえで特に重要になります。「英語」の基礎学力は、最先端のICT技術をいち早く知る上でも、プログラム言語の理解や国際的なコミュニケーションのためにも必要です。

また、「情報」もプログラムの専門教育を受ける上での土台となる科目です。高等学校で学んだ範囲を確実に身に付けておくことが大学での勉学につながります。